



## 研究部会報告

### ● ファジィ動的計画法 ●

・第3回

日 時：8月30日(月) 13:00~17:00

出席者：7名

場 所：財団法人科学技術連盟 2号館3A会議室

テーマと講師：

(1) 「エネルギー環境問題の将来」

有水 彊 (有水研究所)

われわれ人間の作り出した膨大な汚染物質をどのように処理すべきであるかという問題は、人類史上大変重要な問題である。特に、最近では環境ホルモン、ダイオキシンなどを初め、極めて深刻な環境汚染問題に直面している。汚染物質の効率的な処理に、今後はORの考えを取り入れていくべきであろう。

本発表では、特に下水処理問題を取り上げ、現在すべての市町村で行われている活性汚泥法の問題点を具体的に指摘し、これを克服した「画期的な方法」について説明がなされた。

(2) 「International Workshop on Computation, Optimization and Control—The 7th Bellman Continuum—に関する報告」

蔵野正美 (千葉大学教育学部)

正道寺勉 (日本工業大学工学部)

1999年5月24、25日の両日アメリカニューメキシコ州にあるサンタフェ研究所で行われた標記の会合についての報告がなされた。日本からは10件の発表があり、そのうち本研究部会のメンバーが4名参加したため、それぞれの発表についての内容について議論した。

今回は、ベルマン先生のお嬢さん Dr. Kirstie L. Bellman さんが参加され、論文発表をされると共にベルマン先生のエピソードをお話戴いたことは大変印象的であった。なお、次回の The 8th Bellman Continuum は2000年12月に国立精華大学(台湾)で開催される予定である。

### ● グローバル政策 ●

・第5回

日 時：8月28日(土)~29日(日)

出席者：9名

場 所：三菱重工伊豆高原クラブ

テーマと講師：

(1) 「意志決定支援システム」

市川雅也 (三菱重工)

(2) 「この頃考えられる経営者の資質」

樋爪 徹 (山之内製薬)

(3) 「21世紀情報化時代の教育政策とは」

沢 勲 (大阪法科大学)

(4) 「現代の教養をめぐって」

片山隆仁 (防衛庁航空幕僚監部)

(5) 「部族性・民族性・国際性・グローバル性」

上田亀之助 (上田イノベーション研究所)

(6) 「資本主義、社会主義に代わる第三の道」

柴田祐作 (名古屋外語大学)

(7) 「都心空洞化についての一考察」

荻野正浩 (コンサルタント)

(8) 「航空機産業の課題」

柳田 晃 (三菱重工)

(9) 「新ガイドラインと周辺事態安全確保法」

齋藤司郎 (防衛庁)

### ● システム最適化の理論と応用 ●

・第3回

日 時：7月17日(土) 14:00~17:00

出席者：15名

場 所：九州大学経済学部4階電算室

テーマと講師：

(1) 「不確実性下での多段意思決定—分散、範囲、比の3基準」

植野貴之 (九州大学経済学部)

多段意思決定過程において、マルコフ推移法則を仮定した状態遷移と決定との交互の出現列において終端状態における利益を最大化する問題を考える。このとき、従来の動的計画法の枠内では、うまく再帰式を導出できないケースがある。このようなケースでは不変埋没原理を用いることにより再帰式を導出することができ、この再帰式をもとにすれば、 $n$ 段の過程に対する分岐過程を図示することができ、最適政策を容易に求めることができることを示した。